

# 考古学研究室報告

## 第55集

平原古墳群調査報告4

松橋前田遺跡出土資料報告1

2020

熊本大学文学部考古学研究室

# 考古学研究室報告

## 第 55 集

平原古墳群調査報告 4

松橋前田遺跡出土資料報告 1

2019年度 考古学研究室の足跡

2020

熊本大学文学部考古学研究室

## 序 文

2014年以來5年ぶりに、阿蘇市平原古墳群で夏の実習発掘調査を行った。中断していた4年の間に学生がすっかり入れ替わり、古墳の発掘はもちろん公民館での長期の合宿生活も初めての学生たちばかりであった。3・6号墳の発掘と8号墳の測量の三現場を同時並行で進めたが、不慣れな学生ばかりであったこともあって、なかなか思うようには進まなかった。公民館でのほとんどプライバシーのない生活にも、当初はとても戸惑っているようだった。でも、環境が人を作るとはよくいったもので、調査終盤になると目にみえて顔つきの変わる学生も現われてきて、そうした様子を見るにつけ、厳しい環境に身を置くことの重要性をあらためて感じたりもした。

測量では、以前の2～7号墳測量時に用いた電子平板を捨て、レベルで等高線を探す手法に切り替えた。デジタル技術全盛の今からすれば後退となるのだが、現地で地形を読むことの訓練にはかつての古びた手法の方が断然勝っている。学生のうちに遺跡をみる力を養って欲しいと思う。とはいえ、写真ではデジタル技術に頼らざるを得ない。植林された杉のため現場は薄暗く、ISO400のフィルムがどうしても必要になる。でも今はその入手が困難で、今回は期限切れのフィルムを用いた。かなり以前からフィルムカメラとデジタルカメラを併用しているが、おそらく今後はデジタルカメラが主流となるだろう。本書の写真もほとんどがデジタルカメラによるものである。

調査期間の関係で、3号墳の発掘では墳丘面の確定には至らなかった。昨今の大学では、夏休み期間が長くても1ヶ月程度しか確保できないため、調査期間を延長することは不可能である。次年度に期したいと思う。

今年度末、1995年以來熊本大学考古学研究室を支えてこられた木下尚子先生が退任される。私が赴任した1998年からは3名体制で研究室を運営してきたが、次年度からは小畑弘己先生との2名体制となる。お金のことを書くのはやや憚られるが、私が着任した1998年には390万円ほどあった年間予算が、おそらく次年度は70万円程度となる。実習調査と報告書の作成・発行をこの予算内で行うことはほぼ不可能である。しかし、毎年の実習調査と報告書作成は熊大考古の根幹をなすものであるから、可能な限りの工夫をこらして、なんとか今後も継続していかなければならない。

さて、5年ぶりの阿蘇市山田地区での合宿生活であったが、以前と変わらず地区の方々にはとてもよくしていただいた。懇親会の開催やさまざまな食材の差し入れ。本当にありがたいと思う。また、阿蘇市教育委員会の皆様からも、現場見学に来て下さる方々からも、多くの励ましをいただいた。そうしたすべての方々へ心からの感謝の念を捧げるとともに、今後もかわらぬご指導とご支援をお願いしたいと思う。

2020年1月22日

杉井 健

## 例 言

1. 本書は、熊本大学文学部考古学研究室による考古学調査の報告書である。
2. 本書は2部構成をとる。第1部では平原古墳群の発掘・測量調査（第6次調査）の成果、第2部では松橋前田遺跡出土の埴輪について報告する。
3. 第1・2部それぞれの遺跡・調査についての詳細は、以下の通りである。

### 【平原古墳群】

- (1) 平原古墳群は、熊本県阿蘇市山田字平原に所在する。
- (2) 調査期間は、2019年8月21日～9月13日の計24日間である。
- (3) 調査は熊本大学文学部考古学研究室を主体とし、阿蘇市教育委員会の協力を得て実施した。
- (4) 調査担当者は、杉井健（熊本大学大学院人文社会科学部准教授）と小堀嵩史（同社会文化科学教育部博士前期課程1年生）である。
- (5) 平原古墳群に対する考古学的調査は、今回の調査以前にも実施されている。それを含めて、次のように調査回数を整理する。

第1次調査 調査年：1981～1983年

調査内容：1981年 1号墳の発掘調査

1982・1983年 2～4号墳（4号墳は現在の6号墳に一致）の測量調査

調査主体：1981年 熊本県教育委員会

1982・1983年 熊本短期大学（現熊本学園大学）文化財研究会

第2次調査 調査期間：2011年10月14・16・23日、11月1～7日、2012年4月29・30日

調査内容：6・7号墳の測量調査

調査主体：熊本大学文学部考古学研究室

第3次調査 調査期間：2012年8月19日～9月15日

調査内容：6号墳の発掘調査

調査主体：熊本大学文学部考古学研究室

第4次調査 調査期間：2013年8月18日～9月14日

調査内容：6号墳の発掘調査

調査主体：熊本大学文学部考古学研究室

第5次調査 調査期間：2014年8月18日～9月12日

調査内容：6号墳の発掘調査および2・3号墳の測量調査

調査主体：熊本大学文学部考古学研究室

第6次調査 調査期間：2019年8月21日～9月13日

調査内容：3・6号墳の発掘調査および8号墳の測量調査

調査主体：熊本大学文学部考古学研究室

- (6) 本書におけるレベル高はすべて海拔を表し、方位は国土座標（2系）の北を示す。
- (7) 土層名の色調は『新版標準土色帖』による。
- (8) 第1図は国土地理院発行の5万分の1地形図（八方ヶ岳・菊池・御船・宮原・阿蘇山・高森）を、第2図～2・第4図は国土地理院ホームページ電子国土Web（<http://www.gsi.go.jp/>）の標準地図・陰影起伏図を複製したものである。
- (9) 出土土器の検討では入江由真氏（熊本市教育委員会）・檀佳克氏（八女市教育委員会）から、葺石石材の分析では渡辺一徳氏（阿蘇火山博物館）から、3号墳出土石材の分析では志賀智史氏（九州国立博物館）・高木恭二氏（宇土市民会館）からご教示を賜った。
- (10) 調査および合宿、整理作業の実施にあたっては、以下の諸氏・諸機関からご協力とご援助を賜った。  
宮本利邦・緒方 徹・入江捺月（阿蘇市教育委員会）、小西 誠、佐伯朋史、廣石盛治、湯浅正司、日野満司、佐伯省五、阿蘇市山田地区の方々、阿蘇市教育委員会、阿蘇市立一の宮温泉センター、阿蘇世界文化遺産推進室、阿蘇市山田公民館
- (11) 調査参加者は以下のとおりである。  
杉井 健（熊本大学教員）、小堀嵩史・廣重知樹（同社会文化科学教育部博士前期課程1年生）、岩熊拓人・齋藤明日香・宮浦舞衣（同文学部4年生）、有本馨菜子・石本祐太郎・河内 亮・姫野 勝・藤森あきの・牟田有輝・森 悠統・山田紗佑里・渡邊実緒香（同文学部3年生）、内門 柚香・河野由芽・崎谷京加・西 貴史・松本青葉・松本 健・吉田健祐（同文学部2年生）

### 【松橋前田遺跡】

- (1) 松橋前田遺跡は、熊本県宇城市松橋町松橋333番地に所在する。
- (2) 松橋前田遺跡は、みかん園の造成に伴って1965年に発掘調査され、その出土遺物のほとんどは熊本大学に保管されている。調査ではA地点・B地点の2カ所のトレンチが設定され、A地点からは埴輪と土師器が、B地点からは土師器が検出された。

- (3) 松橋前田遺跡出土遺物の一部については、これまでに以下の文献で報告がなされている。
- 土師器：佐藤伸二 1970「中部九州における前期古墳発生の一側面—とくに土師器の編年に関する再検討—」『法文論叢』第26号 史学篇、熊本大学法文学会：pp. 1-21
- 埴輪：竹中克繁・杉井 健 2009「松橋前田遺跡A地点出土埴輪の整理報告」『八代海沿岸地域における古墳時代在地墓制の発達過程に関する基礎的研究』2006年度～2008年度科学研究費補助金（基盤研究C）研究成果報告書、熊本大学文学部：pp. 85-108
- (4) 今回報告するのは、竹中・杉井による2009年報告では示されなかった熊本大学保管埴輪の一部である。今回報告の埴輪以外にも、まだ未報告の資料が多数残されている。
- (5) 第21図は国土地理院発行の2万5千分の1地形図（松橋）を複製したものである。
- (6) 整理作業者は以下の通りである。
- 杉井 健（熊本大学教員）、小堀嵩史・廣重知樹（同社会文化科学教育部博士前期課程1年生）、石本祐太郎・藤森あきの・牟田有輝・山田紗佑里・渡邊実緒香（同文学部3年生）、西 貴史・松本 健（同文学部2年生）
4. 本書の編集は杉井健の監修を受けて小堀嵩史・廣重知樹が担当した。執筆分担は目次および各文末に示した。

## 本文目次

第1部 平原古墳群調査報告4	1
一 位置と環境	3
1. 地理的環境	3
2. 歴史的環境	5
(1) 阿蘇の歴史	5
(2) 九州の大型円墳	6
… 石本・内門・河内・河野・小堀・西・姫野・廣重・松本青・松本健・牟田・吉田	6
二 調査経過	12
1. 過去の調査(第1～5次調査)	12
2. 今年度の調査(第6次調査)	13
三 平原古墳群における古墳の分布	16
1. 平原古墳群の位置	16
2. 古墳分布の様相	19
四 3号墳の発掘調査	20
1. 墳丘の現状	20
2. トレンチの設定	20
3. 調査の所見	20
4. 小結	23
五 6号墳の発掘調査	24
1. 墳丘の現状	24
2. 第5次調査までの所見	24
3. トレンチの設定	24
4. 調査の所見	26
5. 葺石石材の分析	28
6. 墳丘形態の復元	29
六 8号墳の測量調査	32
1. 墳丘の現状	32
2. 小結	35
七 遺物	37
1. 3号墳出土遺物	37
(1) 土師器	37
(2) 石材	37
2. 6号墳出土遺物	38
(1) 壺形埴輪	38
(2) 土師器	40
3. 8号墳採集遺物	41

(1) 土師器 .....	41
(2) 須恵器 .....	41
4. 小結 .....	43
(1) 3号墳出土遺物の時期 .....	松本青葉.....43
(2) 6号墳出土遺物の時期 .....	森 悠統.....43
(3) 8号墳採集遺物の時期 .....	西 貴史.....43
八 まとめ .....	小堀嵩史.....44
<b>第2部 松橋前田遺跡出土資料報告 1</b> .....	47
一 位置と環境 .....	松本 健.....49
二 今回の報告に至る経緯 .....	石本祐太郎.....50
三 出土埴輪の整理報告 .....	52
1. 朝顔形円筒埴輪 .....	藤森あきの.....52
2. 普通円筒埴輪 .....	渡邊実緒香.....54
3. 松橋前田遺跡A地点出土円筒埴輪の特徴 .....	山田紗佑里.....56

## 図 版 目 次

### 平原古墳群

図版 1	1	3号墳の現状（南東から）
	2	6号墳の現状（北西から）
	3	8号墳の現状（南西から）
図版 2	1	3号墳西トレンチ全景（西から）
図版 3	1	3号墳西トレンチ北壁断面（南西から）
	2	3号墳西トレンチ遺物出土状況
図版 4	1	6号墳南2トレンチ全景（南から）
図版 5	1	6号墳南2トレンチ東壁断面（南西から）
	2	6号墳南2トレンチ段築1段目葺石
図版 6	1	6号墳南2トレンチ墳頂平坦面における土師器出土状況（南から）
	2	6号墳南2トレンチ段築1段目葺石上の転落石中における壺形埴輪出土状況（南から）
図版 7	1	3号墳採集須恵器（外面）
	2	3号墳出土土師器片
	3	3号墳出土小型丸底壺
	4	3号墳出土石材（左：大型石材 右：小型石材）
図版 8	1	6号墳出土壺形埴輪（1）
	2	6号墳出土壺形埴輪（2）
図版 9	1	6号墳出土壺形埴輪（3）
	2	6号墳出土遺物（左：土師器 右：赤色顔料塗布壺形埴輪）

- 図版 10 1 6号墳南2トレンチ出土転落石  
 2 8号墳採集土師器  
 3 8号墳採集須恵器（左：外面 右：内面）

#### 松橋前田遺跡

- 図版 11 1 朝顔形円筒埴輪（1）（上：第二口縁部 下：第一口縁～肩部）  
 2 朝顔形円筒埴輪（2）  
 3 普通円筒埴輪（1）  
 4 普通円筒埴輪（2）

## 挿 図 目 次

第 1 図	阿蘇地域の地形と平原古墳群の位置	（安田編 2013 より）	3
第 2 図	平原古墳群における古墳分布図の比較	（杉井作成）	16
第 3 図	平原古墳群南尾根グループ測量図	（興嶺・入江編 2015 より）	17～18
第 4 図	平原古墳群周辺の陰影起伏図	（杉井作成）	19
第 5 図	2・3号墳墳丘測量図（上：3号墳 下：2号墳）	（杉井作成）	21
第 6 図	3号墳トレンチ配置図	（杉井作成）	22
第 7 図	3号墳西トレンチ平面図・断面図	（有本製図）	22
第 8 図	6・7号墳墳丘測量図（上：7号墳 下：6号墳）	（杉井作成）	25
第 9 図	6号墳トレンチ配置図	（杉井作成）	26
第 10 図	6号墳南2トレンチ平面図・断面図・立面図	（姫野製図）	27
第 11 図	6号墳南2トレンチ出土転落石の長さ質量比	（牟田作成）	28
第 12 図	6号墳墳丘形態復元図	（杉井作成）	31
第 13 図	8号墳墳丘測量図	（廣重製図）	33～34
第 14 図	8号墳墳丘形態想定図	（廣重作成）	35
第 15 図	3号墳出土土師器実測図	（崎谷製図）	37
第 16 図	3号墳出土石材実測図	（松本健製図）	37
第 17 図	6号墳出土壺形埴輪実測図（1）	（河野製図）	39
第 18 図	6号墳出土壺形埴輪実測図（2）	（吉田製図）	40
第 19 図	6号墳出土土師器実測図	（内門製図）	41
第 20 図	8号墳採集遺物実測図	（西 製図）	41
第 21 図	松橋前田遺跡の位置	（松本健作成）	49
第 22 図	松橋前田遺跡 1965年調査時のトレンチ配置図	（竹中・杉井 2009 より）	50
第 23 図	松橋前田遺跡A地点出土普通円筒埴輪実測図（竹中・杉井 2009 より）		51
第 24 図	松橋大塚古墳出土普通円筒埴輪実測図（宮崎編 2015 より）		51
第 25 図	第 29 図-1 の第二口縁部下端面の接合痕	（小堀撮影）	52
第 26 図	第 29 図-1 の第一口縁部口唇部内面の接合痕	（森 撮影）	52
第 27 図	第一口縁部口唇部内面の接合痕（1）	（森 撮影）	52



第 28 図	第一口縁部口唇部内面の接合痕 (2)……………	(竹中・杉井 2009 より)……………	52
第 29 図	松橋前田遺跡A地点出土朝顔形円筒埴輪実測図 ……	(藤森・山田製図) ……	53
第 30 図	松橋前田遺跡A地点出土普通円筒埴輪実測図 (1)……	(渡邊製図) ……	54
第 31 図	松橋前田遺跡A地点出土普通円筒埴輪実測図 (2)……	(山田製図) ……	55
第 32 図	松橋前田遺跡A地点出土普通円筒埴輪の比較 ……	(山田作成) ……	57
付 図	図版写真と実測図番号の対応 ……	(小堀製図)	

## 表 目 次

第 1 表	九州の大型円墳一覧表 (1) … (石本・内門・河内・河野・小堀・西・姫野・廣重・松本青・松本健・牟田・吉田作成) …	8	
第 2 表	九州の大型円墳一覧表 (2) … (石本・内門・河内・河野・小堀・西・姫野・廣重・松本青・松本健・牟田・吉田作成) …	9	
第 3 表	平原古墳群測量基準点の現場座標 (1)……………	(杉井作成) ……	14
第 4 表	平原古墳群測量基準点の国土座標 (1)……………	(杉井作成) ……	14
第 5 表	平原古墳群測量基準点の現場座標 (2)……………	(杉井作成) ……	15
第 6 表	平原古墳群測量基準点の国土座標 (2)……………	(杉井作成) ……	15
第 7 表	6号墳墳丘各トレンチの計測値 ……	(小堀作成) ……	30
第 8 表	3号墳出土土師器一覧表 ……	(松本青作成) ……	37
第 9 表	6号墳出土壺形埴輪一覧表 ……	(森 作成) ……	42
第 10 表	6号墳出土土師器一覧表 ……	(森 作成) ……	42
第 11 表	8号墳採集遺物一覧表 ……	(西 作成) ……	42
第 12 表	松橋前田遺跡A地点出土普通円筒埴輪計測値一覧表 …	(山田作成) ……	57